

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回図書館協議会
開 催 日 時	令和7年2月5日(水) 午前 ・午後 10時00分から 午前 ・午後 11時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 304・305会議室
出席委員(者)氏名	若林元城・木村嘉男・高野功・馬場重弘・川上裕子・相内美帆・二宮秀樹 (敬称略)
欠席委員(者)氏名	野上文子・中村典子・大塚早希 (敬称略)
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長：岩上勉 同主査：川島和也 同主事：上谷直也 同主事：笹原康友 市立図書館 館長：竹林聡 同チーフ：森田幸子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 第4次吉川市子ども読書活動推進計画(案)について (2) 令和6年度利用者満足度調査について (3) 令和7年度事業計画(案)について 4 その他 5 閉会 <div style="text-align: right;">【全て公開】</div>
非公開の理由	なし
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	・次第 ・ 資料1 第4次吉川市子ども読書活動推進計画(案) ・ 資料2 第4次吉川市子ども読書活動推進計画(素案)に対するご意見の内容と市の考え方 ・ 資料3 令和6年度利用者満足度調査結果報告書 ・ 資料4 令和7年度図書館事業計画書(案) ・ 当日資料 指定管理者の指定について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	相内美帆・川上裕子 (敬称略)
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

事務局	1 開会
高野会長	2 あいさつ — 会長あいさつ — — 会議録確認者決定：相内委員・川上委員 —
高野会長	3 議事 (1) 第4次吉川市子ども読書活動推進計画(案)について
事務局	事務局より説明願う。
事務局	資料1に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
川上委員	資料より、不読率が高まっていることがよく分かる。現在、子育て支援センターで勤務しているが、絵本よりも歌や踊りの動画を見せる方が、赤ちゃんの興味を惹きつけることができるため、タブレット等を活用している様子を見かける。しかしながら、私たちスタッフも毎週2か所で読み聞かせを実施し、子どもと顔を向き合わせて、なるべく絵本等の面白さを伝えていこうとしている。計画中に電子書籍の導入を検討するという記述もあり、本のデジタル化ということも、今後必要になると感じた。
木村委員	高校生の不読率が前回よりも改善傾向である。要因として、学校全体で探求学習に力を入れているということだが、高校のカリキュラムの特徴によって今回調査した生徒たちが改善しているように数値として現れているのであり、高校生全体の実態とはズレている可能性があることを見込まなければならないと感じる。また、見方を変えれば、「好きで本を読む」のではなく、「調べるために本を読む」状況であることが、数値に反映しているのではないか。もちろん内訳は分からないが、我々の総意としては、「本を読みたい」と思って自発的に本に手を伸ばす子どもたちが増えることを望んでいるので、数値だけでは見えない部分を追究する必要があると考える。
事務局	貴重なご意見感謝する。ご意見のとおり、今回不読率は改善傾向となったが、先が見えない時代において、カリキュラムの変更や、現在精力的に活動されている学校

事務局	<p>図書館司書の交代など、少しの要因で不読率は変動する可能性があると考え。確かに、現在の子どもたちが本を読むのは、先生からの起因によるものが大半かもしれないが、「本を読まされる」という受動的な立場ではなく、「本を読みたい」と自発的な行動に移す子どもたちが増えるよう、計画中に記載した取組を推進することや、乳幼児期から読書習慣を身に付けさせることで、将来的に不読率が改善するようにアプローチしていくことが重要だと考える。</p>
馬場副会長	<p>この会議に参加する前、2年生の図工の授業に参加していた。作業が早く終わり時間が余った子に対しクラスにある本を読んでよいと担任から指示があり、ほとんどの子が読書を始め、多い子ではその時間で6冊程度読んでいた。また、国語の時間には並行読書を実施しており、作文するために教材に関わる本をたくさん読んでいた。授業の中では積極的に教科書以外の本に触れる活動を行っており、そこで読んだ本を本人たちがカウントしていない可能性もある。こういった設問かは記憶していないが、聞き方というのは難しいなと思いつつ、現場の実態とのズレというものを感じた。</p> <p>なお、家庭においてはタブレット等の活用により読書に充てる時間が減っていることは見込みの通りだと感じる。朝読書活動の時間がなくなったことも事実であり、本を読む時間というのは減少傾向である。</p>
事務局	<p>今回、計画中の数値については県が実施している学力・学習状況調査の結果を元に記載している。児童生徒がより実態に近い回答ができる設問になるよう、機会を見て、いただいた意見を県に報告する。</p>
高野会長	<p>朝読書活動がなくなったのは市内全部の学校か。</p>
馬場副会長	<p>全校とは言い切れないが、働き方改革の影響により減っているのは確かである。</p>
高野会長	<p>以前は、給食を待っている間や朝礼前の先生たちが打合せをしている時間に読書をする時間があった。また、授業の時間に学校図書館に行ったり、読書感想文を書いてもらい、それを学級通信に載せることで、子どもたちが本を読むことや書くことを楽しむためのモチベーションに繋がるように工夫をしていた。朝読書活動がなくなってしまったことで、読書等に親しむための新たなきっかけ作りを先生のほうで準備する必要があると考える。</p>
二宮委員	<p>資料の10ページの中で、インターネットの利用時間について記載があるが、これは今の時代では仕方がないのではないか。この利用時間が減っていくことは考えづらい。その中で、先ほども話があった通り、乳幼児期から本を読む習慣を身につけ</p>

二宮委員	<p>ることや、また保護者も子どもと一緒に本を楽しみ、本に触れる機会を創出していくことが大事なことだと考える。</p> <p>前職は本屋に勤めており、調べたところ今は1日1件のペースで本屋が無くなっているという報告を目にした。私が勤めていた時と比較すると約3割減となっている。つまりこれは、タブレット等を用いた読書が増加しており、紙書籍が売れなくなったことで本屋が持たなくなったということと推察する。しかし、今残っている本屋では「児童書」の売れ行きが好調のようで、以前は書店の奥の方で陳列していたものが、現在は入口付近で陳列され、それだけ乳幼児期から子どもに本を買ってあげたいと思い、読み聞かせを行おうとする家庭が増えていることである。そういった背景から、本屋も好調である児童書に力を入れているのであり、今回の計画に落とし込まれている、乳幼児期からの読書活動の施策の方向性は間違っていないと考える。</p>
高野会長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>- 質問なし -</p>
事務局	<p>様々なご意見感謝する。今回お示した計画案を3月の教育委員会に上程し、議決された後改定をさせていただく。各委員、ご了承いただくようお願いする。</p>
	<p>(2) 令和6年度利用者満足度調査について</p>
高野会長	事務局より説明願う。
事務局	資料3に基づき説明。
高野会長	事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。
若林委員	資料より、移動図書館のことや美南地域に本の返却BOXの設置を求める声は連動しているように感じる。
高野会長	<p>吉川町の時に、移動図書館を見かけたことがある。その時は、今の市立図書館や視聴覚ライブラリーのような施設がなく、設備が充実してなかったため、そのように対応していたのだと思う。現在は、中央公民館、旭地区センターにも図書室があることから、さほど必要性は感じなくなったのではないか。なお、中曽根に住んでいる知人から交通手段がないということを聞いたことがあるが、市立図書館は確かに距離があるが、近くの視聴覚ライブラリーにも十分な蔵書があり、読みたい本のリクエストや貸出予約も可能である。私自身、美南地区に住んでいるが、不便に感じたことはない。</p>

相内委員	<p>私も美南地区に在住している。大人1人であれば図書館に行けるが、子どもを連れてとなると行きづらさがあることは理解できるため、そうした家庭の需要はあるのだろう。</p> <p>また、図書館の議題ではないが、おあしすのWi-Fiについて、設置されたことによりとても便利になっているが、自宅でWi-Fiを制限された小学生がおあしすの閉館間近まで保護者に内緒でインターネットを使用していたことを聞いた。例えば、18時以降、小学生1人でスマートフォン等を使っている様子を見かけたら、注意をするような体制を整えていただくようお願いする。</p>
事務局	<p>貴重なご意見感謝する。</p>
二宮委員	<p>昨年度の電子書籍の貸出冊数はどのぐらいになるか。</p>
事務局	<p>吉川市は現時点で電子図書館を導入していない。</p>
二宮委員	<p>先ほどの計画案の話でもあったが、インターネットの利用時間が増加していることを踏まえ、タブレット等でも本が読めるよう媒体を増やすことは効果的だと考える。電子書籍は今の利用者のニーズにも合っており、本を手にとってもらえる可能性も高いと思う。他自治体の事例を参考にしながら、今後は予算の中で紙書籍と電子書籍の購入のバランスを考えてはどうか。まずは電子図書館の導入に向けて検討をお願いする。</p>
事務局	<p>この利用者満足度調査に数年前から電子書籍の項目を入れ、利用者の皆様から意見をいただいている。電子書籍は紙書籍と比べると貸出回数の制限などがあり、費用をかけて整備したものの、実際は紙書籍の方が読まれている図書館も見受けられる。蔵書にあたっては紙書籍とのバランスも考慮する必要があり、吉川市で導入するとなれば、こういった形が利用者に喜んでもらえるかということを考えなければならない。他自治体の電子図書館の状況を調べていくなかで、貸出率が高いと感じた自治体では、児童書と雑誌が導入されていることが多い。雑誌については何度も読み返すといった性質のものではないことから、読み手側のニーズに合っており、出版社も門戸を開いていることから、需要と供給が一致しているジャンルと言えるだろう。なお、小説については販売目的の電子書籍は多数用意されているが、電子図書館の貸出のものは、まだまだ用意が多くない状況である。</p> <p>今後も、今回のような利用者調査を行いながら電子書籍のニーズの把握に努め、より利用いただけるような導入方法を検討する。</p>
高野会長	<p>他に質問はあるか。</p>

<p>高野会長 事務局 高野会長 高野会長</p> <p>事務局</p> <p>馬場副会長</p>	<p>- 質問なし -</p> <p>(3) 令和7年度事業計画(案)について</p> <p>事務局より説明願う。</p> <p>資料4に基づき説明。</p> <p>事務局の説明に対して、意見や質問はあるか。</p> <p>- 質問なし -</p> <p>それでは議事を終了とする。</p> <p>4 その他</p> <p>当日資料「指定管理者の指定について」に基づき説明</p> <p>・令和7年度から11年度まで、現指定管理者であるOITグループが引き続き指定管理者になることを報告。</p> <p>- 生涯学習課長あいさつ -</p> <p>5 閉会のあいさつ</p> <p>- 副会長あいさつ -</p> <p>(午前11時30分終了)</p> <p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 7 年 3 月 14 日</p> <p>署名委員 相内 美帆 (自署) 署名委員 川上 裕子 (自署)</p>
---	--